

渉外経過

- 1988年11月 山田（2年生）部内にタクラマカン砂漠縦断カヌー航行計画案を提出。以後、偵察実施まで国内で情報収集活動を行う。
- 11月 関西大学文学部の河野通弘教授より、ONC、ランドサット写真、
～12月 文献等を借りる。
- 12月22日 奈良女子大学文学部の相馬秀広助教授（朝日楼蘭探検隊）より、タ
リム川に関する資料コピーを頂く。
- 1989年1月27日 朝日新聞大阪本社社会部の福島申二記者（京大学術山岳隊同行）よ
り、資料、交渉先に関するコピーを頂く。
- 1月28日 国際交流協会の吉田與和氏より、交渉先の紹介、地図、資料コピー
を頂く。
- 1月31日 西村（2年生、のち退部）が参加
京都産業大学理学部の能田成教授（京大学術山岳隊隊長）より、交
渉先等を伺う。
- 3月23日 NHKスペシャル番組部の河本哲也氏（シルクロード取材班）より
河川概要、交渉の仕方を伺う。
- 3月24日 朝日新聞東京本社調査研究室の西園寺一晃氏（朝日楼蘭探検隊）よ
り、河川概要等を伺う。
- 3月24日 神戸大学山岳会の福田久勝氏より、交渉先、河川概要等を伺う。
4月 平井（3年生、のち離隊）が参加。
- 4月14日 （株）西遊旅行の柳田清宏氏より、交渉先に関して伺う。
- 4月21日 龍谷大学大宮図書館で資料を閲覧させて頂く。
- 5月 大塚（3年生、のち卒業、離隊）が参加。
- 5月28日 福田久勝氏より、中国（新疆大自然旅行社）への紹介状を書いて頂
く。
- 5月29日 滋賀シルクロード事務局の中井実氏より、交渉先に関して伺う。
- 5月30日 中国（新疆大自然旅行社）へ、タリム川航行許可、偵察の申請に関
する手紙を出す。
- 6月30日 中国より、偵察費用60万円と提示。
中国へ、偵察費用をもっと下げるよう要望する。
- 7月3日 山田が偵察、渉外のために中国へ渡航、偵察費用は半額の30万円に
～8月5日 なる、一部分ではあるが、タリム川を偵察することができた。
- 9月28日 中国へ、仮計画書を送る。
- 10月 三浦、土山が参加。
- 10月16日 中国より、遠征費用61,409USD と提示。
- 10月19日 中国へ、遠征費用の明細を聞く。
- 11月6日 中国より、遠征費用66,437USD と再提示、その明細も示す。
- 12月1日 中国へ、学生ということを考慮に入れて費用を下げるよう要望。

- 1990年 1月22日 中国より、タリム川の航行許可は出た。契約書のサインのために広州にくるようにと要請。
- 2月6日 中国より、広州ではなくウルムチに来るようにと要請。
- 2月21日 山田が交渉のため中国（ウルムチ）へ渡航。
- ～3月9日 費用は安くなるようとりはからう、ワジは中国側が調査する。
- 4月2日 中国より、遠征費用47,195USD と提示、協議書も送ってくる。
- 4月12日 中国へ、新疆のイスラム教徒暴動に関して問い合わせる。
- 4月16日 中国より、新疆のイスラム教徒暴動は計画に支障をきたさない、と返答がくる。
- 5月9日 中国へ、資金不足のため計画を延期するよう要望する。
- 5月12日 中国より、計画を来年に延期することに同意する、と返答。
- 7月6日 中国より、許可保証金として1,500USDを払うよう要請。
- 7月25日 中国へ、許可保証金は払えないと返答。
- 10月25日 中国へ、来年度の仮計画書を発送。
- 12月 佐藤、山本が参加。隊の再編が整う。
- 12月5日 中国より、ワジと迷宮の状況、議定書が送られてくる、また遠征費用43,673USD と提示。
- 1991年 1月29日 山田が交渉のため中国（ウルムチ）へ渡航。
- ～2月9日 遠征費用は51,686USD と提示される、費用の10%は予備日の使用日数に応じて支払うことにする、また議定書を細部にわたってつめる
- 2月 医療の援助依頼を開始。
- 3月11日 中国より、議定書が送られてくる。
- 4月 装備の援助依頼を開始。
- 4月1日 中国より、タリム川流量表が送られてくる。
- 4月27日 中国より、発送装備リストを送るようにと要請。
- 5月 食糧の援助依頼を開始。
- 5月10日 遠征費用の20%を中国銀行ウルムチ分行に振り込む。
- 5月11日 中国へ、遠征費用70%の支払い期限を6月10日から6月20日にするよう要望。
- 5月18日 中国より、支払い期限の延長を認めると返答。
- 中国へ無線機の詳細な仕様を知らせる。
- 6月 OB会へ寄付金依頼を開始。
- 植田正路氏（理事）より寄付金を頂く。
- 6月17日 議定書にサインする。
- 中国へ、議定書、発送装備リストを送る。
- 遠征費用の70%を中国銀行ウルムチ分行に振り込む。
- 6月19日 中国（北京～ウルムチ）へ、装備を発送。
- 7月1日 大学、教育後援会より助成金が下りる。徳山喜昭氏（校友会副会長）柳楽喜祐氏（評議員）より寄付金を頂く。
- 7月2日 遠征隊出発。